

広報

しおばら

8

2007/August
No.29

Shobara
SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

浴衣で 奏でる調べ

今月の主な内容

特集 もう一つのヒロシマ	2
新庁舎の基本設計	8
ひまわりバスが仮庁舎玄関前へ	10
バリアフリー改修で固定資産税が減額	11
8月は現況届の提出を	12
西城市民病院で糖尿病の栄養指導	13
創ろう！守ろう！地域の文化	14
安心・安全な毎日のために	16
健康広場「緑内障」	17
カメラレポート	18
お知らせ	24
市民が選ぶ！庄原の宝	32

「浴衣で楽しむ紅梅通り七夕まつり」でライブを行った県立広島大学のアイリッシュ・ミュージックサークル。色とりどりの浴衣姿でそれぞれの楽器を演奏し、観客は夏の風情を楽しんだ。(関連19ページ)



証言1

遺骨を胸に泣きながら校門去る 家族の姿は忘れられない

—— 駅から被爆者を運ぶ

山本 智洋さん (木戸町)

夏休みに召集

昭和20年8月9日、当時私は山内西国民学校高等科1年生（現在の中学校1年生）でした。ちょうど夏休みでしたが、学校から「13時までに登校せよ」と連絡が入り、登校しました。登校したのは高等科1・2年生全員でした。グラウンドに集合した私たちに校長先生は「8月6日に、広島駅付近に小さな爆弾が落とされた。多くの負傷者がでて、広島病院だけでは収容できないので、この学校の一部が仮の病院になることになった。そこで今日の臨時列車で、負傷された兵隊さんが300人くらい運ばれて来るので、諸君は、担架で駅から学校まで運んでもらうことになった。負傷しておられるので注意すること、水を欲しがらねど絶対与えてはいけません」と話しました。

まるで生き地獄

自力で歩ける兵隊さんは、10メートルも歩くと前から順番に道に座り込まれ、その度に、軍刀を手にした将校さんが「立て」と大声で命令すると、スーッと立ち、手を胸の前まで上げ、だらりとして歩く姿は、正に幽霊のようでした。

なぜあんなに厳しくされるのか、休ませてあげたらよいのに・・・と思いましたが、

6人1組で私たちの班は、4人の兵隊さんを運びました。その中の一人は途中で「生徒さん学校はまだか」と何回も小さな声で聞かれましたが、学校にいたときには亡くなられていました。あの時の声が耳について寝つかれない日が何日か続きました。水をひどく欲しがられる兵隊さんもありました。男女の区別がつかぬほどに焼けただれだ2・3人が私たちに「ありがとう」と声をかけられ、その声

その時の異臭と、兵隊さんが重かったことを覚えています。こんなひどい目にあつたのに、小さな爆弾かと思いに思いました。当時の学校の先生は、士気が下がってはいけなないと、大変な被害を受けても「損害軽微」と言っていて、真実を教えてくださいませんでした。

その後、私たちは夏休み中でしたが、交代で登校して死体の運搬などの仕事に当たりました。学校の裏山に穴を掘って死体を焼かれました。2学期が始まり9月下旬頃まで、その焼き場で死体を焼く煙が絶えませんでした。今日も、今日もというように、遺骨を胸に泣きながら校門を去る家族の痛ましい姿は、今もはっきり記憶にあります。

2度とこうした悲惨な戦争をしてはならない、平和を守らなければいけないと、教職員時代は毎年子どもたちに語り継いできました。



原爆の絵 (広島平和記念資料館提供)



被害者の会の役員 (右から加藤照明さん、土井昭二さん、山本智洋さん、福山権二さん)

山内で被爆者を収容

(被爆体験記「葛城」から抜粋)

広島市に原爆が投下されてから3日後の8月9日、広島陸軍病院から「本日15時頃の列車で被爆者を輸送するので、その受け入れ準備を完了しておくように」と緊急連絡が、当時の山内西村役場にありました。さつそく役場が中心となつて、山内西国民学校を病棟にし、山内地区の国防婦人会、大政翼賛会、翼賛壮年団の協力によって受け入れ体制を整えました。

被爆者を乗せた列車は山

内駅に到着し、274人の被爆者が下車しました。これらの被爆者は、広島市内で被爆後、徒歩で避難し芸備線沿いの戸坂小学校に収容された人たちでした。広島近隣の学校施設などに収容しきれない人数になり、陸軍病院の判断で県北部に輸送されたのです。

山内西国民学校の臨時病棟は、現在の山内小学校プールの位置にありました。2階建て校舎で1階に重症者を、2階に軽症者を収容しました。

動員された山内地区国防婦人会の人たちは、炊事、洗濯をはじめ、悪臭がただよう病棟内で、排便の始末、傷の手当て、食事の世話など、献身的な奉仕活動を毎日繰り返しました。

すさまじい被害者の現実を前に、地域住民からは、農産物や高価な客人用寝具が惜しげもなく提供されました。また、見舞いに来た家族の宿泊を受け入れ、看病する家族を支えました。毎日、5人、8人と無念の最期を遂げられた方々は

88人にのぼり、山内西国民学校裏の葛城山麓の臨時火葬場で火葬されました。この病棟は、開設後、53日目の9月30日に閉鎖しました。

翌年から慰霊行事

あまりにも痛ましい悲惨な被爆者の最期に接し、献身的な看護に全力をあげた山内地区の婦人会の皆さんは、地域住民の協力を仰いで、翌年からお盆には毎年欠かすことなく被爆者の終焉の地を清掃、香華をたむけ、慰霊の行事を続けてきました。

そして、13年後の昭和33年3月、婦人会の皆さんが中心になって、区民と協議し、山内西地区全戸に寄付を呼びかけ、市からも補助金を受け、原爆犠牲者の慰霊碑を建立しました。この慰霊碑前では、毎年8月6日、原爆投下の日に遺族を招待し、山内地区社会福祉協議会の主催で慰霊の行事が開催されています。

昭和20年8月6日、原子爆弾が広島市に投下され、62周年を迎えました。原爆投下時、現在の山内小学校に急設された病棟に、多くの軍関係被爆者が運ばれ、山内地区の住民が一丸となって、被爆者の手当て・看護に従事しました。

そこには、被爆地ヒロシマを支えた「もう一つのヒロシマ」の姿が見えてきます。

山内原爆被害者の会の証言から当時を振り返り、平和について考えてみましょう。

88人にのぼり、山内西国民学校裏の葛城山麓の臨時火葬場で火葬されました。この病棟は、開設後、53日目の9月30日に閉鎖しました。

翌年から慰霊行事

あまりにも痛ましい悲惨な被爆者の最期に接し、献身的な看護に全力をあげた山内地区の婦人会の皆さんは、地域住民の協力を仰いで、翌年からお盆には毎年欠かすことなく被爆者の終焉の地を清掃、香華をたむけ、慰霊の行事を続けてきました。

そして、13年後の昭和33年3月、婦人会の皆さんが中心になって、区民と協議し、山内西地区全戸に寄付を呼びかけ、市からも補助金を受け、原爆犠牲者の慰霊碑を建立しました。この慰霊碑前では、毎年8月6日、原爆投下の日に遺族を招待し、山内地区社会福祉協議会の主催で慰霊の行事が開催されています。



原爆の絵 (広島平和記念資料館提供)

戸坂小学校に着くと、あまりにも悲惨な状況に頭が真っ白になりました。校庭の大きなテントには死体が積み重ねられ、周りは重症患者でいっぱいでした。その様子は口では表現できません。まるで地獄絵図に描かれたひどい状況でした。

陸軍病院で、両手足を切断した兵隊さんが水瓶に入られて帰ってくるなど、涙がでる悲惨な状況をたくさん見て来た私でしたが、声も出ませんでした。衣服はポロポロで裸同然、ヤケドがひどく、意識のある人は皆、「水」「水」と水を求めていました。ヤケドの患者に水を与えると、下痢を起し危険な状態になるので、水は与えられません。看護といっても、薬もなく、ただ見回るだけで、手のほどこしようがありませんでした。この中に、市内で看護婦をしていた2人の姉妹がいるかもしれないと、大きな声で名前を呼びましたが、被爆者は皆、顔が腫れ「ウー」「ウー」と唸るだけで返答はありませんでした。

山内で昼夜なく看護

翌日、山内西国民学校が臨時病棟になるということで、被爆患者と一緒に庄原へ帰りました。2人の姉妹の安否が気になり、後ろ髪を引かれる思いで戸坂小学校を離れました。

山内病棟では、被爆患者の治療に一生懸命、昼夜なく看護に勤めました。しかし、その甲斐なく次々と亡くなっていっていかれ、残念な思いを何度となく味わいました。

重傷者を収容した1階では、背中にヤケドを負っている人が多く、皆うつ伏せの状態が横たわり、チンク油と赤チンを調合したものを、傷に塗りました。だんだんと乾燥してくると、その周りの皮膚を引っ張るの「痛い」「痛い」と叫ばれていました。また、暑かったので、傷口にウジがびっしりとわき、「痛い」と叫ばれる中で、ウジをとるのはつらい作業でした。脳障害を起し、夜中に叫んだり、歩けない患者が無意識

で徘徊したり、当分の間、仮眠をとることもできませんでした。山内地区の婦人会の皆さんは、炊き出しが主な作業でしたが、「被爆患者を見てあげたい」と、私たち看護婦と一緒に頑張って看護に尽くされました。「汚い」とか「臭い」とか、愚痴をこぼさず手伝っていただき、本当に助かりました。

2階に収容された軽症患者も、突然髪が抜け、亡くなる人もいました。この頃から、ずっと気になっていた姉妹の生存をあきらめるようになりまし。62年経った今も、何一つ姉妹の物はできていません。

姉妹を失った悔しさ、山内病棟で胸を熱くした思いは一生忘れることはできません。次の世代に二度とこんな思いを経験させてはほけないと強く願っています。



証言2

姉妹を失った悔しさ、山内病棟で胸を熱くした思いは忘れられない — 山内病棟で看護

谷口 文江さん (高茂町)

原爆投下の一週間前に庄原へ

昭和15年、尋常高等小学校を卒業し、口和から広島市へ出ました。個人病院で働きながら独学で看護婦の免許を取得。その後、姉のいる広島第一陸軍病院に勤務しました。現在の広島市民球場の位置にあり、後に原爆ドームとなる産業奨励館を毎日見ていました。陸軍病院は、戦場から帰って来た負傷兵を受け入れる施設で、日本が勝つためにと、一生懸命に看護に専念しました。

だんだんと戦争が激しくなり、陸軍病院も広島郊外に疎開をするよう命令がありました。庄原で患者を受け入れる準備をするため、昭和20年7月29日に庄原病院(現在の庄原赤十字病院)へ行きました。隣接する庄原小学校(現在の市民会館)にベッドを運ぶなど、受け入れ準備に汗を流していた8月6日、原子爆弾が投下されました。庄原病院から広島市方面を眺めると、黒

戸坂小へ 救援に向かう

「ピカドンが落ちて大変じゃ。広島へ応援に行つて



原爆の絵 (広島平和記念資料館提供)

い煙が見えたのを覚えていいます。

くれ」と命令を受け、8月8日にチームを編成し、戸坂小学校へ救援に向かいました。

戸坂駅に下りると、近くで死体を火葬していたのか異様な悪臭がしていました。

庄原市戦没者追悼式 並びに平和祈念式典



本市の戦没者に哀悼の意を表すとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和を祈念するため、庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典を下記のとおり開催します。

多くの皆さんの参加をお願いします。

とき 8月22日(水) 10時～
ところ 庄原市民会館

※当日は要約筆記による案内、各支所からの送迎バスをご用意しています。また、イントラネットでの中継も行いますので、各学校、公民館（自治振興センター）などで式典をご覧いただけます。

送迎バスの利用は、8月15日（水）までに各支所へ申し込んでください。

（定員に限りがありますので、ご希望に添えない場合はご了承ください。）

【問い合わせ】

社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
西城支所保健福祉課 ☎0824-82-2202
東城支所保健福祉課 ☎08477-2-5131
口和支所市民生活課 ☎0824-87-2114
高野支所市民生活課 ☎0824-86-2114
比和支所市民生活課 ☎0824-85-3002
総領支所市民生活課 ☎0824-88-3110



山内自治振興区が平成17年度、庄原市自治振興区活動促進補助金を活用し、地域の平和のシンボリック拠点である原爆慰霊碑周辺を整備しました。



山内地区社会福祉協議会が主催する原爆犠牲者慰霊祭。遺族をはじめ、山内・水後小学校の児童、地元住民など毎年約100人が参列して行われています。



原爆犠牲者慰霊祭終了後、山内自治振興センターで遺族と地元住民による交流会が行われています。



広報紙を編集する役員

「面談した人の中には、今でも被爆者であることを隠したいという強い思いの方もおられ、原爆の傷跡は60年以上を経た現在でも重く深く残っていると痛感しています。」

「被爆者の回復の願いを込め、負傷者の手当・看護に従事した山内地区の先人を誇りに思います。また、60年以上慰霊祭を続けてき

「二度とあんな悲惨なことがあってはならない。特に、若い世代に核兵器の恐ろしさを伝えていきたい」。山内地区原爆被害者の会は強い思いで、活動を行っています。

「慰霊祭の継続が責務」
被爆体験記「葛城」は、第3号を完結編とし発行を終えましたが、現在でも定期的に広報紙を発行し、悲惨な実態を継承し続けています。

「二度とあんな悲惨なことがあってはならない。特に、若い世代に核兵器の恐ろしさを伝えていきたい」。山内地区原爆被害者の会は強い思いで、活動を行っています。

次世代に原爆体験を語り継ぐ使命

山内地区原爆被害者の会

原爆被害者の会を 結成

昭和33年から本格的な慰霊祭が始まりましたが、近年、お年寄りも坂道を上ることがつらくなり、だんだんと参列する人が減ってきました。また、理事会で「慰霊祭をやめよう」とい

う声も上がり、山内の被爆体験が風化してしまうと危機感を募らせた被爆者は、平成13年、山内地区原爆被害者の会（加藤照明会長）を結成しました。

会員は、原爆による被害のすさまじい実態、実相をしっかりと次の世代に継承しなければいけないと、被爆

被爆体験を継承

被爆体験記「葛城」は、会員の被爆体験を取りまとめ平成14年に第1号を発刊。約500部を印刷し、地域住民をはじめ、遺族や市内の小・中学校、図書館などに無料配布しました。また、山内で一命を取り留めた被爆者を訪ねて、県内

「被爆者から「山内の皆様、故人になられた方も多いかと存じますが、その節は本当にお世話になりました。当時の思い出、皆様のご恩は一時として忘れたことございませんでした」と、心のこもった礼状も届きました。」



被爆体験記「葛城」

た、山内地区を誇りに思います。これを続けていくのが我々の責務です」と役員は口を揃えます。

毎年8月6日は社会福祉協議会が主催する「慰霊祭」終了後、山内地区原爆被害者の会が、被爆者や遺族との交流会を行っています。



市民に親しみやすく 利用しやすい新庁舎

市は、平成21年2月末の完成を目指し、新庁舎建設事業を進めています。今回、市民に親しみやすく、利用しやすい新庁舎となるよう基本設計をまとめたので、お知らせします。

●基本設計の概要

〈主な特徴〉

- まちなみと調和した配置
 - ・庁舎の西側は高さを2階に抑え街並みに配慮し、県道に面した東側は6階として市役所の顔づくりをしています。
 - ・敷地の北西側に広場を設け、駐車場も含めた一体利用が可能なオープンスペースを確保し、多目的な市民利用に対応することができま。
- 分かりやすく明快なゾーニングと動線
 - ・主な窓口を1・2階に配置することにより、市民が目的の窓口へ容易に行くことができるよう配慮し、議会ゾーンを5階にまとめ議会の独立性を確保しています。
 - ・北西側にエレベータを2台設け、主要縦の動線としています。
 - ・西側の主出入口、東側出入口、南西出入口（夜間出入口）の3つの出入口を設け、市民の利便性を高めています。
- 防災拠点としての施設整備
 - ・非常時には防災対策室（大会議室）に災害対策本部を設置し、災害に対応します。
 - ・市民ホールは広場と一体的に災害時の救援体制、一時避難場所として利用します。
- バリアフリーへの対応
 - ・段差のない安全な建物外通路・移動が容易な内部動線・利用しやすい多機能トイレ・障害者にも配慮したエレベーター

タ・利用しやすい窓口カウンターなど、誰もが利用しやすいよう配慮しています。

○新エネルギーの導入と省エネルギー対策
・地中熱や木質ペレットを熱源とした空調とするほか、外気を積極的に導入し、空調負担の軽減を図ります。

●新庁舎建設に関するご意見ご要望を

現在、この基本設計をもとに経費縮減を念頭に実施設計を行っています。実施設計にあたっては設計内容の変更をすることもあります。

今後、実施設計の完成を9月末の予定としており、本年12月の建設着工を目指しています。

新庁舎建設について、ご意見・ご要望などがありましたら左記までお寄せください。

それぞれのご意見などについて、個別に回答はできませんが、今後、事業を進める中で参考とさせていただきます。

■郵送

〒727-8501

庄原市中本町一丁目10番1号

庄原市総務課行政係

■FAX 0824723322

■電子メール

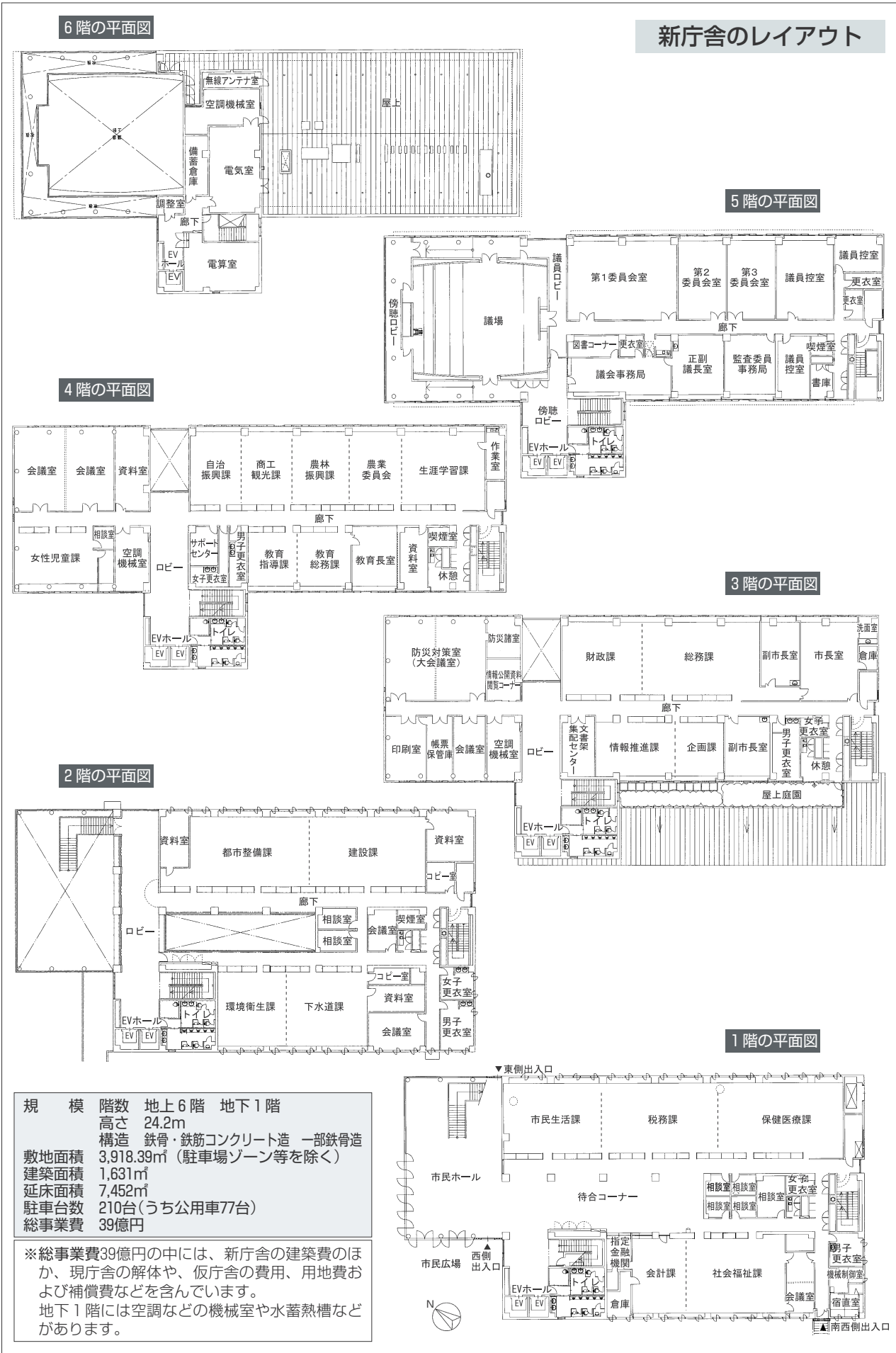
soumu-gyousei@city.syobara.hiroshima.jp

問い合わせ

総務課行政係

☎(0824)731123

新庁舎のレイアウト



市役所仮庁舎玄関前から ひまわりバスが利用できます。

7月から、自治振興課、社会福祉課、女性児童課、教育委員会各課が、庄原税務署西隣の仮庁舎で業務を行っています。

ひまわりバスは、仮庁舎正門前に臨時のバス停を設けてご利用いただいていたが、8月から、玄関前に停留所を設置しました。

今後は、より便利に、より安全に、ご利用いただけます。

なお、新停留所設置により、1週の所要時間が2分ほど長くなり、次のとおり運行ダイヤが変更となっています。

【問い合わせ】

市民生活課生活安全係

☎(0824)73-1154

備北交通(株)

☎(0824)72-2122

■変更後ひまわりバス時刻表（市街地循環）

※冬期：11月～3月

主な停留所	1便	※冬期のみ運行	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便
柳原口	8:38						13:43					
庄原バスセンター	8:40	(9:22)	10:04	10:46	11:28	12:10	13:45	14:27	15:09	15:51	16:33	17:15
かんぼの郷庄原	8:48	(9:30)	10:12	10:54	11:36	12:18	13:53	14:35	15:17	15:59	16:41	17:23
ゆめさくら	8:50	(9:32)	10:14	10:56	11:38	12:20	13:55	14:37	15:19	16:01	16:43	17:25
ザ・ビッグ	8:53	(9:35)	10:17	10:59	11:41	12:23	13:58	14:40	15:22	16:04	16:46	17:28
幼稚園入口	8:57	(9:39)	10:21	11:03	11:45	12:27	14:02	14:44	15:26	16:08	16:50	17:32
日赤前	9:00	(9:42)	10:24	11:06	11:48	12:30	14:05	14:47	15:29	16:11	16:53	17:35
庄原市役所仮庁舎	9:02	(9:44)	10:26	11:08	11:50	12:32	14:07	14:49	15:31	16:13	16:55	17:37
ジョイフル	9:05	(9:47)	10:29	11:11	11:53	12:35	14:10	14:52	15:34	16:16	16:58	17:40
市役所前	9:12	(9:54)	10:36	11:18	12:00	12:42	14:17	14:59	15:41	16:23	17:05	17:47
ふれあいセンター前	9:19	(10:01)	10:43	11:25	12:07	12:49	14:24	15:06	15:48	16:30	17:12	17:54
庄原バスセンター	9:21	(10:03)	10:45	11:27	12:09	12:51	14:26	15:08	15:50	16:32	17:14	17:56
柳原口						12:53						17:58

■ひまわりバス時刻表（備北丘陵公園）

停留所	往路	停留所	復路
庄原バスセンター	9:22	備北丘陵公園	13:15
かんぼの郷庄原	9:29	かんぼの郷庄原	13:26
備北丘陵公園	9:39	庄原バスセンター	13:32

市民生活課生活安全係
☎0824-73-1154

「生活交通に関する市民アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。

市は、本年度、『庄原市生活交通ネットワーク再編計画（仮称）』の策定を予定しています。

この計画の基礎資料とするため、市内に居住する15歳以上の市民の中から無作為に抽出した2,500人の方に、郵送による市民アンケートを実施しました。

このアンケートでは、市民の皆さんの日常の外出状況や、バスなどの生活交通に関するご意見をお尋ねしています。

1,251人の方からご回答いただき、回収率は50.0%となりました。（平成19年7月20日現在）

アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

『庄原市生活交通ネットワーク再編計画(仮称)』は、市民の皆さんの移動状況や生活交通に関するご意見をもとに、市民生活を支える社会基盤としての生活交通ネットワークを構築し、また、長期的に維持できるより効率的な交通サービスを提供することを目指して計画するものです。

市は、道路運送法に定めのある「庄原市地域公共交通会議」を設置し、同法などの規定により協議が必要となる案件のほか、この再編計画についてもご協議いただくこととしています。

バリアフリー改修に伴う 固定資産税の減額

税務課資産税係 ☎0824-73-1144

平成19年4月1日から平成22年3月31日までの間に行った、既存住宅のバリアフリー改修工事で、次の要件に該当する場合は、申告によりその住宅の翌年度分の固定資産税額が3分の1減額されます。(ただし、100㎡を限度とします。)



対象となる家屋は

次のいずれかの方が居住する既存住宅（賃貸住宅は除く。）

- ①65歳以上の方
- ②要介護認定または要支援認定を受けている方
- ③障害者

対象となる改修工事は

次のいずれかに該当するバリアフリー改修工事で、補助金などを除いた自己負担額が30万円以上のもの

- ①廊下・出入口の拡幅
- ②階段の勾配の緩和
- ③浴室または便所の改良
- ④手すりの取り付け
- ⑤床の段差の解消
- ⑥出入口の戸の改良
- ⑦床の滑り止めの改良 など

減額を受けるための手続きは

改修工事の完了後3か月以内に、次の書類を添付して税務課または最寄りの支所へ申請してください。

- ①納税義務者の住民票の写し
- ②改修工事に係る工事明細書および改修工事部分の写真
- ③改修工事に要した費用を証する書類（領収書の写しなど）
- ④対象者に該当することが判明する書類
65歳以上の方…住民票の写し
要介護認定、要支援認定を受けている方…被保険者証の写し
障害者…障害者手帳などの写し
- ⑤庄原市などから居宅介護（介護予防）住宅改修費の給付金などを受けられた場合は、その決定通知の写し

中国労働金庫三次支店
三次市十日市南一丁目5番30号
☎(0824)634221

・労働金庫での新規口座振替依頼は、三次支店での取り扱いとなりますので、三次支店で所定の手続きをお願いします。

中国労働金庫三次支店
三次市十日市南一丁目5番30号
☎(0824)634221

1、納付書などでの窓口納付
庄原支店の窓口納付業務を、三次支店が継承しますので、三次支店で窓口納付ができます。

2、口座振替による納付
・庄原支店での口座振替業務を、三次支店が継承しますので、今までもどおり口座振替が継続できます。（三次支店への変更手続きなどは不要です。）

これに伴い、8月17日以降の市税などの納付は、次のとおり三次支店の取り扱いとなります。ご不明な点は、税務課および各担当課へお問い合わせください。

中国労働金庫
庄原支店が
廃止

市税などの
納付場所が
変更

税務課収納係
☎0824-73-1145

児童扶養手当・特別児童扶養手当を受給している方へ

8月は現況届の提出を！

女性児童課児童福祉係
☎0824-73-1192

現在、児童扶養手当・特別児童扶養手当を受給している方（支給停止中の方も含みます。）は、児童扶養手当現況届・特別児童扶養手当所得状況届の提出が必要です。

この届け出は所得状況やお子さんの監護状況を確認し、受給資格を判断するもので、提出がなければ、8月分以降の手当は支給されません。期間内に忘れずに提出してください。

なお、支給要件に該当する方で、現在、手当を受けていない方は、女性児童課または各支所担当課へお問い合わせください。

□受付期間

児童扶養手当
8月1日(水)～8月31日(金)
特別児童扶養手当
8月13日(月)～9月10日(月)

●児童扶養手当

父親のいない家庭または父親が一定の障害の状態にある家庭などで、18歳に達する日以後最初の3月31日までの児童を養育している

母または養育者が対象。ただし、老齢福祉年金以外の公的年金を受給している場合は対象になりません。なお、支給については所得制限があります。

手当月額	
全部支給	41,720円
一部支給	41,710円～9,850円
児童が2人の場合	5,000円 加算
以下児童が1人増すごとに	3,000円 加算

●特別児童扶養手当

身体または知的に中度以上の障害のある20歳未満の児童を養育している方が対象。なお、支給については所得制限があります。

手当月額	
1級(重度)	50,750円
2級(中度)	33,800円

e-しょうばらネット 公衆無線LANの設置場所が拡大

新たに
4施設で
利用可能に

情報推進課情報推進係 ☎0824-73-1113

住民の情報技術能力の向上、情報通信格差の解消、また市内来訪者の利便性の向上を図るため、昨年10月市内9個所の施設内で住民のパソコンから無料でインターネットに接続することができるよう整備を行いました。

今年度は、定額でISDNが利用できない地域の4公民館に公衆無線LANシステムを整備し、8月中に運用を開始します。

手続きについては、次の設置施設、または情報推進課にお問い合わせください。

設置場所

地域名	施設名
庄原地域	市民交流サロン「ラッキー」
	食彩館しょうばら「ゆめさくら」
西城地域	高自治振興センター
	庄原市役所西城支所
東城地域	庄原市役所東城支所
	★小奴可公民館
	★八幡公民館
	★田森公民館
口和地域	★帝釈公民館
	□和公民館
高野地域	庄原市役所高野支所
比和地域	比和公民館
総領地域	総領公民館

★：今回新しく設置した施設

私が住んでいる小奴可地域は、ADSL回線などの高速情報通信網が整備されておらず、公民館でインターネット講習会が開けない状況でした。今回設置された公衆無線LANを利用した講習会を開催し、多くの方にインターネットを利用していただく機会を作ることができると期待しています。



小奴可公民館
古家 真貴さん

西城市民病院で 糖尿病の 栄養指導

西城市民病院 ☎0824-82-2611



待ち時間を利用

西城市民病院は、生活習慣病の予防やメタボリック症候群の早期発見に力を入れています。

今年度の新しい取り組みとして、糖尿病患者を対象に検査の待ち時間を利用して、30分程度の糖尿病栄養指導を行っています。

この栄養指導を取り入れることにより、患者自身が病氣と闘っていきこうという意識をより一層高めることにつながっています。

糖尿病の専門である上田晶子医師は「今は6人に1人は、糖尿病と言われています。糖尿病の合併症が進まないよう、早期発見・早期治療が重要です」と、話しています。

この糖尿病の栄養指導は、予約制で第1・第3金曜日以外の平日（休診日は除く）9時から11時までの30分単位で実施しています。詳しくは西城市民病院内科へお問い合わせください。

呼吸器疾患の患者を支援

呼吸器専門外来は、日ご

ろ、在宅で酸素を使って療養をされている患者を対象に、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・栄養士が包括的にかかわり、病院全体として支援する体制を整えています。

ビデオ学習のほか、在宅酸素療法を受けている患者やその家族に、野外に出て自然の中で新鮮な空気を十分に吸ってもらい、交流を図りながら、腹式呼吸の訓練や体操を取り入れた楽しい活動に取り組んでいます。

呼吸器疾患の専門である塩見桂史医師は「睡眠時無呼吸症候群、慢性呼吸器不全の検査・治療も積極的に取り組んでいます。いびきがひどい方、息切れ、せき、たんなどの症状がある方は、一人で悩まずに気軽に受診してください」と話しています。

西城市民病院は、夜間・休日を問わず、24時間体制で診療にあたっています。夜間・休日に来院される時は、事前にご連絡ください。

補助犬（盲導犬）の申請は

8/24（金）まで

社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210



広島県視覚障害者団体連合会は、視覚障害で1級または2級の身体障害者手帳所持者の方を対象に、補助犬（盲導犬）を給付します。給付頭数は県内で1頭です。

給付候補者となるためには、次の要件を満たすことが必要です。

- ・就労などにより、社会参加の効果があると認められること。

- ・本人または世帯の所得税額が一定以下であること。
- ・盲導犬を適切に飼育できると認められること。

その他、連合会が定めた基準を満たすことが必要です。詳しくは、広島県視覚障害者団体連合会 ☎（082）290-2320までお問い合わせください。

※申請書類は社会福祉課障害者福祉係にもありますので、ご希望の方はご連絡ください。

安心&安全な毎日のために

庄原消防署 ☎0824-72-9911

【防災の日・防災週間】

9月1日は「防災の日」。また、8月30日から9月5日は「防災週間」です。

大正12年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風への心構えの意味も含めて昭和35年に制定されたものです。(暦の上では立春から数えて210日目特に「二百十日」と呼びます。ちょうど稲の開花期に台風が来たり、強風が吹き荒れたりすることに注意を促したと言えます。)

地震や風水害からわが身を守り、被害を最小限に抑えるために、一人ひとりが災害時に適切な行動がとれるよう、日頃から心構えと備えを万全にしておきましょう。

地震・風水害などの災害に備えて

- ★地区で決まっている避難場所の確認をしましょう。
- ★家屋の補強をしましょう。
- ★家具などの転倒、落下防止をしましょう。
- ★窓ガラスには、飛散防止フィルムなどを張りましょう。
- ★ブロック塀や看板などが、落下転倒しないように補強をしましょう。
- ★非常持出品の準備をしましょう。

- ★停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオを準備しましょう。
- ★断水に備えて飲料水を確保しましょう。
- ★いざという時の家族の行動、待ち合わせ場所、安否を知らせる方法などについて日頃からよく話し合しましょう。
- ★台風や雨・風に関する気象情報を注意深く聞きましょう。
- ★万が一に備えて、早めに自主避難しましょう。
- ★防火教室や救命講習などに積極的に参加して、非常時の防災行動力と知識を身につけましょう。

防火教室や救命講習をご利用ください

備北地区消防組合は、皆さんと共に火災予防を考える機会として、防火講話や消火器による消火訓練、住宅用火災警報器などの紹介を行う防火教室を開催しています。

また、AEDを含む心肺蘇生、けがに対する手当の方法を習得してもらうため、市民の皆さんや事業所、学校などを対象とした救命講習も実施しています。救急車が到着するまでの応急手当を習得しましょう。

防火教室や救命講習などのご要望がありましたら、お気軽に最寄りの消防署、各出張所にお問い合わせください。

安全功労者内閣総理大臣表彰

柴木睦博さん(西城町熊野)が7月2日、総理大臣官邸で、内閣総理大臣から交通安全功労者として「安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

この表彰は、7月1日を「国民安全の日」として定め、安全意識の普及徹底や安全水準の向上に顕著な功績があった方々に贈られるものです。

柴木さんは、昭和33年から交通安全活動に参加し、高齢者世帯の戸別訪問などを実施しているほか、昭和33年に免許を取得してから無事故・無違反を継続するなど自ら安全運転の模範を示しています。

また、庄原地区交通安全協会の役員や西城交通安全推進隊長を歴任し、現在は、庄原地域交通安全活動推進委員(公安委員会委員)として活躍しています。こうした長年にわたる献身的な交通安全活動が評価され、今回の受賞となりました。



西城支所市民課
☎0824-82-2124



庄原赤十字病院
眼科部長
向井 聖

40歳以上の20人に1人は緑内障

緑内障とは

従来の緑内障の定義は眼圧上昇の結果、視野が狭くなる疾患といわれていましたが、日本人の緑内障は眼圧が正常な方が多い（正常眼圧緑内障）ということが分かり、最近では眼圧上昇に関係なく視野狭窄が進行していく疾患と定義されています。ただし、脳卒中・蓄膿症などによる視力視野障害は除外されます。

緑内障の分類

緑内障は頻度の多いものから正常眼圧緑内障、続発緑内障、原発開放隅角緑内障、原発閉塞隅角緑内障、

先天緑内障に分けられます。

緑内障の原因は

現在のところ、90%が原因不明です。ただし、糖尿病網膜症・網膜動脈閉塞症などの眼底出血から緑内障になることもあります。これを続発緑内障といいます。

緑内障の頻度は

緑内障は、40歳以上の20人に1人が罹患しているといわれ、高齢化社会に伴って増加傾向にあり、日本人の中途失明者の第1位となっています。近年日本人の60〜70%が正常眼圧緑内障であることが分かり、眼圧検査だけでは緑内障の発見が遅れることがあります。正常眼圧緑内障はほとんどが高齢者ですが、若くても近視眼の方は近視のない方に比べて若干多い傾向にあります。先天緑内障は非常にまれで、出生児の1万人に1人の割合です。

緑内障の症状は

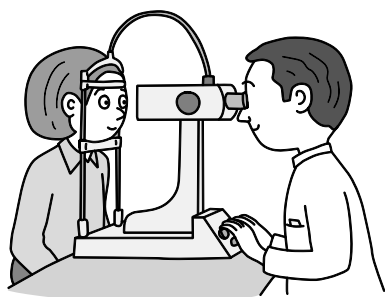
正常眼圧緑内障の初期は自覚症状がなく、進行して視野狭窄・視力低下を自覚したときは手遅れですので、早期発見・早期治療が必要です。また、原発閉塞隅角緑内障は急性緑内障発作（眼痛、充血、吐き気）で発症して失明する恐れがあります。したがって、40歳以上で眼科受診歴のない方は一度眼科受診をおすすめします。

緑内障の検査は

緑内障の主な検査は眼圧検査、眼底検査そして視野検査です。当院では病期別に3種類の視野検査機器で進行度を評価しています。日本人に正常眼圧緑内障が多いことから眼圧の高い低いにかかわらず、半年に1度は視野検査を受けることをお勧めします。

緑内障の治療は

基本的には点眼治療を中心とした薬物治療です。眼圧が高い原発開放隅角緑内障の場合は、点眼で眼圧が下がらなければ飲み薬を追加し、それでも下がらなければやむをえず緑内障手術をすすめています。原発閉塞隅角緑内障の場合はレーザー治療で緑内障発作を予防します。緑内障発作をおこした場合は入院治療が必要なこともあります。



最後に
お願いがあります

糖尿病網膜症、網膜剥離術後、飛蚊症などの眼底疾患の患者さんには眼底検査目的で散瞳（瞳孔を広げる）することがあります。その際には車を運転してこないようお願いしています。

山間部で車以外の交通機関がない地域の方には大変申し訳ありませんが、交通事故防止のために身内の方に乗せてきていただくなど、工夫してください。どうしても運転しないという方は、散瞳検査後4時間以上経過した後に運転して帰宅するようにお願いします。

各地で行われたイベント&話題を紹介するコーナーです。

有事に備え大規模訓練 三日市密集地火災想定訓練

密集地火災想定訓練が6月24日、三日市町で行われ、地域住民や消防団など約600人が参加しました。

参加者は実際の火災現場さながらに、真剣な表情でバケツリレーを行い、消防団員は放水訓練を行いました。

また、庄原市赤十字奉仕団（寺岡隆行代表）による炊き出し訓練も行われ、参加した約40人の団員は手際よく五目飯などを作っていました。

火災をはじめとした各種災害時には、温かい食事が気持ちを落ち着かせ、被害に遭われた方はもとより、救助活動を行う方の力の源となります。参加者は「いつ災害が起きても慌てず対応できるように今後も活動をしていきたい」と話していました。



住民によるバケツリレー



赤十字奉仕団が大鍋で炊き出し

深緑を歩いて魅力再発見 帝釈峡ウォークラリー

7月16日、帝釈峡まほろばの里を発着点として、『帝釈峡ウォークラリー』が開催され、『まほろばコンサート』と合わせて約150人が参加しました。

帝釈峡まほろばの里から天然記念物『雄橋』までの約4kmのコースには、8か所のチェックポイントが設けられ、参加者は帝釈峡の自然に関する問題を解きながら、設定された時間内でコースを歩きました。

参加者の中には、「東城に住んでいても知らない問題もあった」「子どもに答えを教えてもらった」などと話し、帝釈峡の魅力を再発見していました。

また、野外ステージで『まほろばコンサート』が行われ、東城中学校吹奏楽部が「明日があるさ」など4曲を披露。「RICO&河野せいじ」のギターとキーボードの音色が緑の会場を包み込みました。



チェックポイントで問題を解く参加者

浴衣で夏の風情を楽しむ 紅梅通り七夕まつり



アイリッシュ・ミュージックがライブ

「浴衣で楽しむ紅梅通り七夕まつり」が7月5日～7日の3日間、庄原市街地で行われました。

紅梅通りには、県立広島大学の学生らで構成する「さくらプランニング」が作った竹灯籠や市内の児童が作った笹飾りが並べられ、夏祭りの風情を演出。

7日は、旧中本町・下本町で土曜夜市も開催され、県立広島大学のアイリッシュ・ミュージックサークルがまちかど演奏をしたほか、漬物バーやコロケの販売などの露天が並びました。また、楽笑座でもアルゼンチンタンゴのライブなど七夕イベントが行われ、浴衣姿の家族連れなどで賑わいました。



プロと共演し技術を体験

エネルギー「音楽づくりコンサート」



広島交響楽団（65人）は、11か国の音楽を演奏



スペイン音楽の演奏で、子どもたちがフラメンコを踊る

エネルギー「子どもたちと広響による音楽づくりコンサート」が7月2日、市民会館で行われました。

これは、子どもたちが実際に楽曲を体感し、音楽を創造するワークショップ連動型のコンサート。事前に楽団員が学校を訪問して、「踊り」や「ウェーブ」などの振り付けを指導し、子どもたちがオーケストラ曲をより深く楽しめるように準備を進めてきました。

コンサートでは、会場全体を架空の乗り物「ペナトニック号」に見立て、世界各地を巡りながら各国の楽曲を鑑賞。参加した市内の小学校5・6年生など671人は、途中で曲に合わせて踊ったり、合唱したりして、コンサートを盛り上げました。

プロの技術を体験・共演し、子どもたちの豊かな情操を育もうと中国電力㈱がスポンサーで開催されました。

工事の安全と早期開通を願う 中国横断道尾道松江線安全祈願祭

尾道松江線の安全祈願祭が、6月21日に高野工区で、7月6日に口和工区で、それぞれ行われ、行政や工事関係者、地元地権者代表などが参列し、工事の安全と早期開通を祈願しました。

中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市から松江市にかけて137kmをつなぐ道路です。この整備により、県内外のアクセスがスムーズになり、観光をはじめとする「人の交流」や「地域の連携」が促進されるなど、さまざまな効果が期待されています。



参列した関係者（高野）



安全を願って玉ぐしをささげる（口和）

カジカの鳴き声で俳句を詠む 西城小学校が俳句学習

6月21日、西城小学校の低学年（49人）が季語のカエル「カジカ」の鳴き声を聴き、俳句作りに挑戦しました。

昨年まで高学年で行っていた俳句教室を、今年から低学年でも取り組もうと今回が初めての試み。地元の俳句グループ「西城岬会」会長の伊藤白水さんが講師で、「自然の中から、自分の心に映ったものを、俳句に詠みましょう」と、子どもたちを指導しました。

子どもたちは、西城川の護岸に腰をおろし、「カジカ」の鳴き声と川のせせらぎを聞きながら、俳句を詠みました。「水の音 まざりあいたる かじかぶえ」や「初かじか きれいな鳴き声 コンサート」などと子どもたちが発表すると、指導した伊藤さんも「子どもたちの感性の鋭さには、びっくりした」と喜んでいました。



耳を澄まして俳句を詠む子どもたち

建築職人が 保育所などを修繕 「住宅デー」で奉仕活動



庄原保育所で下駄箱を補修

建築に携わる方々で構成する広島県建築センター協会庄原支部が6月24日、「住宅デー」の一環として庄原小学校と庄原保育所で修繕ボランティアを行いました。

これは、建築職人が自分たちの仕事や技能を理解してもらおうと、毎年6月25日を「住宅デー」とし、地域で奉仕活動をしています。庄原保育所では、壁のペンキ塗りや下駄箱の補修が行われました。

また、6月24日～29日にかけて、東城・西城・高野支部でも同様に、保育所や独居老人宅で修繕ボランティアが行われました。

親子で楽しく、スキンシップ 「水夢」でベビースイミング

6月27日から5回にわたり、西城温水プール水夢で、生後4か月から3歳までの子どもとその親を対象に、「ベビースイミング」が行われています。

第1回の6月27日は、5か月から2歳までの子どもとその親、7組14人が参加。子どもたちは、お父さんやお母さんに高い高いをしてもらって水に入り、足をバシャバシャさせたりしながら、25mのプールを往復しました。はじめは、ぐずって「怖い」と泣いていた子どもも、だんだん慣れて、最後まで指導を受けました。

「ベビースイミング」は、おなかの中にいる感覚で、親子のスキンシップで情を通わせ、陸上ではできない水圧によるマッサージ効果などがあるといわれています。参加者は、「楽しいスキンシップができて良かった」と話していました。



高い・高いに大喜び

国際的な視野を広げる 栗田小が「子ども国際教室」

6月28日東城の栗田小学校で、世界のさまざまな文化を知り、国際的な視野を広げようと「子ども国際教室」が開催されました。

全校児童22人は、低学年・高学年に分かれて、ひろしま国際センターにボランティア登録している、フィリピン・ネパール・ Bangladesh出身の3人の方々から、スライドやプロジェクター、模型を用いて、言葉や文化、日本とのかかわりについて聞きました。

フィリピン出身の山出べべさんは、フィリピンの乗り物を模型で紹介。児童は「何という乗り物ですか」「どうやって乗るんですか」と質問していました。また、ネパール出身のプラビン・シュレスタさんは、エベレスト山の自然や山頂付近のごみ問題を紹介。「10代の若者が、エベレスト山の登頂に成功している。君たちもぜひ挑戦してほしい」と話していました。

最後に参加者全員で、英語のじゃんけんゲームを楽しみました。



フィリピンの乗り物を学ぶ子どもたち

めざせ！ホームランバット 「なかつくに公園」で環境整備



防草シートを張る参加者

総領町稲草の「なかつくに公園」で6月16日、アオダモの木の根元に防草シートを張る作業が行われました。

アオダモは野球のバットの原材料で、昨年秋に、広島東洋カープの選手らと市内の少年野球チームが、遊歩道沿いに植樹しました。

将来、ホームランを打てるバットになるよう見守ってほしいと、地元の「田総の里自治会」が総領少年野球スポーツ少年団にも呼びかけました。参加した35人は、約200本のアオダモの木の根元の雑草を刈り、「雑草に負けず、もっと成長するように」と2メートル四方の防草シートを張りました。

また、子どもたちに自然を大切にしてほしいと、田総の里自治会が手作りした竹製の釘をシートが飛ばないように打ち付けていきました。

大富山城跡を散策 県民の森「自然観察会」

6月8日、ひろしま県民の森が主催する自然観察会「比婆山と西城史跡廻り」が行われ、地元西城や広島市などから参加した7人は、西城町の大富山（511.4m）に登り、西城川に沿って遊歩道を歩きました。

比婆科学教育振興会会長の金沢成三さんと県民の森総支配人の片倉端吾さんがガイドで、大富山城の遺構や自然の植生を説明。参加者は大きなシダやササユリ・シラカシに感激しながら、山頂の大ケヤキまで登りました。

地元から参加した主田さんや青木さんは、「いつも見ている山ですが、離れて見ているだけでは、知らないことがたくさんあった」と1日を満喫していました。ひろしま県民の森では、毎月自然観察教室を行っています。



散策ルートを確認する参加者

有事に備え放水訓練

比和方面隊が夏期教養訓練

6月24日、比和スポーツ広場などを会場として、庄原市消防団比和方面隊の夏期教養訓練が行われ、関係者を含む約100人が参加しました。

庄原市消防団の夏期教養訓練は、消防団員の技術向上や防災意識を高めることを目的に、6月下旬から9月上旬にかけて方面隊ごとに行われています。



ドラム缶めがけて放水

この日は、号令により団体行動を行う訓練「集整理整頓要領」の後、分団ごとに分かれ放水技術を競う「放水訓練」を実施。この放水訓練は「とっくり出し」とも呼ばれ、ドラム缶めがけて放水しドラム缶の中にある3リットル缶をいかに早く放出するかを競い合いました。団員は、高い位置から放水したり、消防ホースを2つに分岐させたりと、さまざまなやり方で熱心に取り組んでいました。

岡原方面隊長は、「こうした地道な取り組みが有事の際、大きな力となる。今後もさまざまな訓練を通じ消防団員の技術向上に努め、地域の皆さんの期待に応えていきたい」と話していました。



2人1組で放水

ココロもカラダも美しく

口和でヨガ・ピラティス講座

ヨガ・ピラティス講座が、口和文化ホールで6月12日から始まりました。

ヨガやピラティスは最近流行のエクササイズで、性別や年齢を問わずに人気があり、昨年に引き続き今年も約40人が参加しています。

初日は、講師の山玉一恵さんがポーズのときの呼吸方法や体の姿勢について指導。参加者は、ポーズの難しさや体の硬さと痛みなどに悪戦苦闘しながらも、次々と難しいポーズに挑戦していました。また、会場は楽しい会話が弾み、笑顔があふれるなか、心地よい音楽にあわせて気持ちの良い汗を流していました。

この講座は3月まで計20回開催されます。



慣れないポーズに悪戦苦闘！？

ドライバーへ安全運転を呼びかける

夏の交通安全パラソル村



ドライバーへ交通安全啓発品を配布

7月11日、「夏の広島県交通安全運動」に伴い、庄原地区交通安全協会中央分会と山内東分会が、上原町パトカーの駅広場で、「夏の交通安全パラソル村」を開催し、7団体、約60人が参加しました。

参加者はドライバーへ交通安全啓発品を配布し、「安全運転をお願いします」「交通事故に気をつけましょう」などと声をかけ、交通安全意識の高揚を図りました。

半夏のちまきづくりを学ぶ

越原の伝統行事で交流会

7月1日、ふれあいの里越原で「半夏のちまきづくり体験」が開催され、尾道市などから約20人が参加しました。

半夏のちまきづくりは、比和町越原で一年のちょうど半分の日にあたる半夏の日に、ちまきや団子を作って神仏に供える伝統的な行事。これを多くの人に体験してもらい、次世代に継承していこうと交流会が企画されました。

交流会では、地元で生産したもち米や地域に自生しているクマザサを使い、地元住民が指導しながらちまきづくりを行いました。出来たちまきを早速調理し、参加者は山菜料理などとともに、地元ならではの味を楽しんでいました。

参加者は「越原の皆さんは、いつも温かく迎えてくれて、ふるさとに帰ってきたような気持ちになる。貴重な伝統行事に触れることもでき、次回の行事にも、また参加したい」と話していました。



ちまきづくりを楽しむ参加者

特技を生かし演奏会

親子リズムの会が「七夕コンサート」



各楽器の音色を聴き比べる

子育て支援施設「ひだまり広場」で知り合った母親たちが7月2日、七塚保育所で「七夕コンサート」を開催し、七塚保育所の園児のほか、地域の親子約40人が参加しました。

ピアノ、クラリネット、フルートが奏でる美しい音色に、子どもたちは目をまるくしながら「七夕さま」「となりのトトロ」など、知っている曲に合わせて口ずさんだり、リズムをとったりして楽しんでいました。また、他の子育てサークルも協力し、ブラックライトを使ったパネルシアターなどでコンサートを盛り上げました。

出演した母親たちは、お互いに子どもを見合いながら企画・練習をこなし、「気持ちよく演奏でき、皆さんに聞いてもらって楽しかった」と充実した表情。

「ひだまり広場」に勤務する石原春美さんは、「子育て家庭の皆さんをつなぎ、それぞれの特技や趣味を活かした社会参画の応援をしていきたい」と話していました。

お家の人と花を植えよう

下高保育所祖父母・保護者参観日

6月27日、高野の下高保育所（園児38人）が、「お家の人と花を植えよう」をテーマに祖父母（保護者）参観日を行いました。

園児の祖父母・保護者35人が参加。おじいちゃん・おばあちゃんのひざにすっぽり抱かれて至福の表情の園児たちは、一緒にペットボトルで鉢作りをし、思い思いの花を植えました。

園庭は100個余りのプランターで花いっぱいになり、園児たちは「一緒に植えた花を見に、保育所に来てね」とおじいちゃん・おばあちゃんに呼びかけていました。



プランターへ花を植える

犬・猫の引き取り 8月・9月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

Table with columns: 地域 (Region), 日程 (Schedule), 場所および時間 (Location and Time). Rows include 庄原地域, 西城地域, 東城地域, 口和地域, 高野地域, 比和地域, 総領地域.

※7月から市役所車庫前を仮庁舎(旧江の川総合開発工事事務所)へ変更してまいります。市民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

献血のご案内 献血を次のとおり実施します。皆さんのご協力をお願いします。実施日: 8月31日(金) 会場: 高野支所 受付時間: 10時30分~11時30分, 12時30分~15時

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX 市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。9月の展示案内 世界児童画展 8日(土)~11日(火) 10時~17時 ※入場無料

広報日記 これまで「原爆」といって、爆心地の被害のみをイメージしていましたが、ここ庄原でも、被爆者が支えた人々の姿、農村の力があつたことを今の特集取材を通して知りました。取材をした山本智洋さんが「被爆者を支え、慰霊祭を続けてきた山内の先人を誇りに思う」と話されましたが、まさにその通りだと思ひ、その言葉がともにも印象に残りました。平和への願いや活動は、戦争・原爆による被害を知ることから始まります。しかし、高齢化で、戦争が原爆体験を直接聞くことが困難な状況になっていきます。時間がなく感じました。

休日診療のご案内 8月・9月の休日診療については、次のとおりです。

Table for 庄原地域 (Shobara Area) showing dates, clinic names, and phone numbers. Clinics include 藤野医院, 田淵医院, 毛利医院, 備北ななつか病院, 庄原赤十字病院, 児玉(納)医院.

※庄原赤十字病院については、救急患者に限ります

Table for 東城地域 (Tochoo Area) showing dates, clinic names, and phone numbers. Clinics include 東城病院, 瀬尾医院, こぶしの里病院, 日伝医院, 東城病院, 三上クリニック, こぶしの里病院, 東城病院.

しょうばら九日市 毎月9日は 9月 日曜日のくunchi市へ! ご家族でどうぞ! ★ここにしかない手づくりの味。手仕事市へ! ★出店者・出店場所 大募集中です! とき: 9月9日(日)10時~14時 ところ: 中本町商店街周辺(のほりが目印) 出展者募集中! 詳しくは http://kunchi-ichi.main.jp/

市税 水道料金 下水道使用料 納付は口座振替が便利です 手続きは各金融機関の窓口でお願いします。◎税務課収納係 ☎0824-73-1145 ◎下水道課管理係 ☎0824-73-1175 ◎水道課業務係 ☎0824-73-1197

人の動き (6月末日現在) [住民基本台帳登録人口] ○人 口 42,754人(前年比-697人) 男 20,271人(前年比-325人) 女 22,483人(前年比-372人) ○世帯数 16,246世帯(前年比-26世帯) [外国人登録人口] ○人 口 329人(前年比+31人)

夏の涼!夏の元気!夏の体験! 「夏まつり Summer Festival 2007」 8/31まで。期間中は毎日開園!



夏の自由研究ができません。夏の自由研究にもびったりの「夏休み!」の「昆虫探検ガイド」を、昆虫探検しながら、トンボやカブトムシなど、夏の昆虫を探しに出かけよう! おいしい体験なら「さとうやま」の「大流しうどん体験会」。特選吟醸うどんを贅沢に流します。その他、「わらび餅づくり体験」や「豆腐づくり体験」など、夏ならではの食体験、各種クラフト教室など、盛りだくさんのイベントでお待ちしています。

ボランティアスタッフ 新規募集中! 国営備北丘陵公園は、園内の花壇の植栽やイベントの運営など、公園管理の一部を、市民参加の活動により行っています。り行っています。たいた、園内の一角に「ガーデンングボランティア」と、毎月一回来園者向けに開催している「遊びの学校」運営ボランティアの新規スタッフを大募集しています。参加にあたっては特別な知識や技術は必要ありません。問合は、まずはお気軽にお問合ください! ①「ガーデニングボランティア」(新規活動開始!) ②「遊びの学校」運営ボランティア ③「活動内容」: 憩いの庭をデザインし、お花の植付けや草取りなどを行います。 ④「次回活動日」: 8月19日(日) 10時、8月25日(土) 10時、 ⑤「募集要項」: 年間500円(保険料として) ⑥「活動日程」: 毎月1回程度(その他随時活動可) ⑦「募集人数」: 10人程度 ⑧「募集締切」: 8月18日(土)

備北丘陵公園 だより



夏休みは楽しいイベント! 暑い夏の涼しい水遊びには「カヌー体験」がおすすめです。カヌー体験は、ガイドの指導で初心者でも楽しく遊べます。夏の自由研究にもびったりの「夏休み!」の「昆虫探検ガイド」を、昆虫探検しながら、トンボやカブトムシなど、夏の昆虫を探しに出かけよう! おいしい体験なら「さとうやま」の「大流しうどん体験会」。特選吟醸うどんを贅沢に流します。その他、「わらび餅づくり体験」や「豆腐づくり体験」など、夏ならではの食体験、各種クラフト教室など、盛りだくさんのイベントでお待ちしています。

配偶者からの暴力から被害者を守るために... 改正DV法が成立しました! 来年1月に施行される予定です。大きな改正点: 裁判所は、身体への暴力を伴わなくても生命・身体に対する脅迫行為があれば保護命令を出せるようになります。 配偶者・パートナーからの 暴力で悩んでいませんか ~あなたは「ひとり」じゃない~ 広島県広島こども家庭センター 女性相談課 (配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所) ☎082-254-0391 広島県備北こども家庭センター 相談援助課 (配偶者暴力相談支援センター) ☎0824-63-5181(内線2313) 女性児童課男女共同参画係 ☎0824-73-1243

「広報しょうばら」に広告を募集します 市内の全世帯(約16,000世帯)に配布する広報紙「広報しょうばら」(毎月5日発行)に広告を掲載する法人、団体、個人事業者などを募集します。問い合わせ 情報推進課 ☎0824-73-1159

「ふれあい市長室」の日程 とき 8月11日(土)9時~12時 9月 8日(土)9時~12時 ところ 8月:総領支所 9月:本庁 ※公務により実施できない場合もあります。 ※道路の改良・維持・修繕などの要望・陳情は、直接事業担当課へお願いします。 ※問い合わせ 情報推進課広報統計係 ☎0824-73-1159

食彩館しょうばら ゆめさくら ☎0824-75-4411 【8・9月のイベント情報】 ●中国山地写真展 期間 8月31日(金)まで ●ゆめさくら夏まつり 期間 8月15日(水)まで ●庄原中学校書道展 期間 8月10日(金)~19日(日) ●ゆめさくらミニコンサート とき 8月18日(土) 13時~ ●陶芸講座 とき 9月2日(日) 13時30分~16時 定員 20人 参加費 1,500円



私が選ぶ！ 庄原の宝

Treasure of Shobara

帝釈の自然

帝釈峡は、国天然記念物「雄橋」や名勝「帝釈川の谷」のすばらしい景観で有名ですが、知られていない貴重な動植物がたくさんあります。

タイシャクギセル・カワシンジュガイ・金ボタル・クモノスシダ・カタクリ・ヒメユリ・・・など。特に私が好きなのは人知れない山里に咲くヒメユリの可憐で質素な美しさです。

帝釈の遊歩道に入ると、川のせせらぎとカジカの声を聞き、帝釈川の谷からのさわやかな涼しい風を感じ、澄んだ空気・自然の恵みを満喫しながら散歩することができる絶好の場所です。 大神眞澄（東城町帝釈未渡）



「ヒメユリ」。草丈30cm～50cmの多年草。夏になると紅色とだいたい色の中ぐらいの美しい花を咲かせる。

次世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、市民が庄原市全体の宝として選ばれたものを紹介するコーナーです。自然・歴史・文化・生活・産業など、各分野からご推薦ください。

応募方法

名前と住所をご記入のうえ、「ここが好き」「ここがすばらしい」「こんな保全活動をしている」など、“庄原の宝”への思い入れなどを200字程度にまとめ、写真1枚を添付して、郵送またはメールでご応募ください。

応募先

〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報推進課広報統計係
☎0824-73-1159
メール info-toukei@city.shobara.hiroshima.jp

広告



マスコットキャラクター
ヒイツキー

備北交通株式会社

マスコットキャラクター
サクラ



東城・庄原・三次～広島
高速バス



庄原市街地循環
ひまわりバス



国内も 海外も 旅行のことは **tabi たび館 kan**

TEL(0824)72-7440 広島県知事登録旅行業者代理業第70号



観光貸切バス



庄原～三次～吉田
路線バス



正社員募集 ●事務職員 (大卒又は平成20年3月 大学卒業見込みの方) 募集期間:8月末日
詳しくは 〒727-0011 庄原市東本町三丁目11番16号
総務課まで TEL(0824)72-2122 ホームページ <http://www.bihoku.co.jp/>